



県政に勇気！南魚沼に元気！

ひぐち  
秀敏

# 元気通信

2018/5 創刊号

発行責任者: 柴田恵美子  
南魚沼市塩沢771-12ノ・マルビル  
ひぐち秀敏後援会事務所  
電話: 025-782-5233



## 市民と野党 力一つに

360人がひぐち頑張れ

後援会設立総会 会長に柴田さん

駆け付けた総会参加者を前に県政挑戦の決意を語るひぐち秀敏（左）／参加者で埋め尽くされた超満員の会場（右上）



後援会長に選出された柴田恵美子さん

4月27日、市民と野党が結集し、ひぐち秀敏後援会の設立総会を開きました。会場の南魚沼市民会館には、ひぐち秀敏の県政への挑戦を応援しようと、358人もの市民が詰めかけ、座りきれない程の超満員となりました。国政野党や地域政党等からも幅広い支持が寄せられました。

ひぐち秀敏は、南魚沼での少年時代の生活や政治・経済の現状に触れながら「格差のない、安心して暮らせる社会を実現したい。38年間の行政経験を活かして、地方政治から政治の流れを変えていきたい」と力強く決意表明しました。

後援会規約と役員体制が承認され、会長に柴田恵美子さんが選出されました。

## ひぐち秀敏決意表明

後援会設立総会でひぐち秀敏は、自身の幼少期の生活や父親となつてからの子育ての経験を交え、県政への決意を表明しました。父母や子どもたち、生まれ育った地域への思いが、ひぐち秀敏の原点であり政策の指針です。

## 格差ない社会実現したい

## 若者が働き暮らせる南魚沼に

安心できる暮らし

大好きな新潟県・南魚

沼を元気にしたいとの思いから県政への挑戦を決意しました。

少年時代、近所の川で魚を捕り、山で木の実を捕ってすごしました。近

所には織物工場があり、機を織る音が響いていました。父は衣類の行商をし、母は縫製の内職で家計を支えていました。

貧しいながらも、自然豊かな南魚沼で、多くの人たちに支えられ、育てていただいたことに感謝しています。

政治家を志す原点は、こうした生活の中にあります。格差のない安心して暮らせる社会を実現したいと思います。

## 医療・福祉・教育

新潟県の男性職員で初めて育児休業を取得しました。おしめを洗い、離乳食を作るなどで、あつ



という間に一日が終わってしまいます。

上の子が6歳、下の子が3歳のときからは、男手ひとつで育てました。2人ともぜんそくで、深夜の救急外来に何度もお世話になりました。

魚沼基幹病院ができ、低出生体重児や先天性疾患を持つ新生児の治療もできるようになりました。反面、循環器診療の救急外来休止や周辺病院の縮小などの不安もあります。

地域完結型の医療体制を確立するためには県のリーダーシップが必要で、医療人材の育成と確

ひぐち秀敏の訴えに拍手を送る総会参加者

保を、地域の育成機関と連携して進めます。

少子・高齢化が進んでいます。地域の宝である子どもたちを安心して育てられるよう、医療費の助成や少人数学級の拡充を進めます。

お年寄りの足となる交通機関の整備を進め、介護予防で健康寿命の延伸をはかります。

## 地域経済・農業

子どもと友人たちの多くは県外に進学、就職し、地元に戻る人は多くありません。

若者の起業支援や、織物など伝統産業の高付加価値型への事業展開を進め、若者が南魚沼で働き、生活できるよう支援していきます。

スキー場や温泉など地域資源を活かした観光振興をはかるとともに、広域ネットワーク化を進めます。

地域の医療、福祉、雇用、農業を熱く語るひぐち秀敏





来賓を代表してあいさつする寺口友彦南魚沼市議会議員



# 勝利の方程式―野党統一

## 来賓・メッセージ・推薦続々

総会には政党を超えて来賓のご出席とメッセージをいただきました。その後も国政野党、地域政党などから、後援会に続々と推薦状が届いています。2年前の参議院選挙から知事選、総選挙と、自民党政治に「新潟ショック」を突き付けた勝利の方程式

式に野党統一で闘う体制が整いつつあります。南魚沼市議会議員で市民クラブ代表の寺口友彦さんから、来賓を代表してごあいさついただきました。寺口さんは「新潟県と南魚沼が抱える課題は同じ。少子高齢化だ」と指摘し「こういう難し

い問題にどういう立場で活動するかが大事だ」とひぐちにアドバイスしました。また「自民党は確かに強いが、オール野党と市民が一つになって闘えば勝利できる」と展望を示しました。黒岩たかひろ衆議院議員は、総会にメッセージを寄せ「ひぐち秀敏さんは南魚沼になくてはならない、県政に必要な人材。出身地であり深く愛する故郷でのひぐちさんの活動を精一杯応援する」と支持を表明しました。

### 総会へのご来賓・メッセージなど

- ▼ご来賓（順不同・敬称略）  
寺口友彦（南魚沼市議） 佐藤剛（同） 田中せつ子（同） 梅沢道男（同） 中沢道夫（同）  
佐藤守正（湯沢町議） 北村利一（日本農民組合六日町支部執行委員） 中村俊之（連合新潟南魚沼支部長） 牛木治（南魚沼地区平和環境労働組合会議議長）
- ▼メッセージ（順不同・敬称略）  
黒岩たかひろ（衆議院議員） 西村ちなみ（衆議院議員） 岡村雅夫（南魚沼市議） 小林義昭（新社会党新潟県本部執行委員長）
- ▼推薦・支持（5月3日現在・順不同）  
社民党新潟県本部 立憲民主党新潟県本部 民進党新潟県本部 新社会党新潟県本部 緑の党・にいがた 連合新潟 南魚沼地区平和環境労働組合会議 日本農民組合六日町支部



拍手に迎えられ、母ウメ子さん、父一男さんと一緒に入場するひぐち秀敏

今年度から減反政策が廃止される中、魚沼コシヒカリが食味ランキングで特Aから陥落し、農政も米づくりも転換期を迎えています。県職員として農林業の分野に長く携わった経験を活かし、中山間地農業、家族農業を守る政策を進めます。

## 柏崎・刈羽原発稼働させない

子どもが生まれたときに、この子たちを絶対に戦場に送ってはいけないという気持ちを持ちました。そんな思いから平和運動にかかわるようになりました。政府は国民の声を無視して安全保障法

案を強行採決しました。これは許せないと思い、朝の出勤前に街頭に立ち、8カ月間「安倍政治を許さない」というメッセージを掲げ続けました。今

7年前に東京電力福島第一原発が大きな事故を起こしました。私もボランティアなどで、何度も福島を訪ねました。今も双葉郡は多くの場所ので、人の住めない当時のままの姿をとどめています。原子力に頼らないエネルギー政策に変えていかなければなりません。

柏崎・刈羽原発の再稼働には反対してまいります。



柴田会長から叱咤激励の言葉とともに、辻立ちや街頭演説で使うのぼり旗が贈られた

## ひぐちに期待と激励

総会では、多くの方が「政治家になって欲しい」「ひぐち秀敏への期待や励ましの言葉をいただきありがとうございました。」

柴田恵美子後援会長は「ひぐちさんには立派な政治家になって欲しい」と願うだけでなく「いたらないところは止めます。間違ったときは叱ります」と、自らひぐち秀敏の成長を助ける役を買って出

ました。

町内会の活動等とおしてひぐち秀敏と親交の



ひぐち秀敏が町内会でお世話になっている林正栄さん

ある林正栄さんは「地域やPTAの役員で地元の振興に頑張ってもらっている。人柄、主張を知っている。是非当選して県政と南魚沼地域の橋

# 県政と南魚沼の懸け橋に

渡し役となって欲しい」と期待を寄せました。

県立六日町病院で非常勤職員として勤務していた高橋明子さんと阿部季子さんは「六日町病院の廃止で解雇されてしまうのではと不安で一杯だった私たちを、ひぐちさんは組合の役員として大変



力強く支えくれました」と振り返り「困っている人や弱い人の立場で頑張つて」とエールを送りました。

家族を代表して長男の樋口元気さんが父親への

長男の元気さんは「友達から『お父さんお洒落だね』と言われるのが嬉しい」などと「父のすごいところ」を数え上げた

## 父は責任をきちんと果たす人

支援を訴えました。元気さんは、「僕らをちゃんと育ててくれた」父親の「すごいな」と思うところとして①根気のあるところ②責任をしっかりと果たしてくれるところ③約束を守ってくれるところ④お洒落なところ——を挙げ「ひぐち秀敏をよろしく願います」と頭を下げました。

## あなたもサポーターに

ひぐち秀敏を応援する後援会に、あなたも是非ご加入ください。



## ご家族、お友達をご紹介ください

ひぐち秀敏への支援の輪を広げるため、ご家族、ご親戚、ご友人などのご紹介をお願いします。後援会から各種ご案内をお送りします

連絡先: ひぐち秀敏後援会事務所 電話: 025-782-5233